

町田市広報課 TEL 042-724-2101

プレスリリース [2026年2月9日]

(計4枚)

東京初！東京の放置竹林問題に挑む
「東京謹製メンマ」が学校給食に登場！
～ファームマチダ東京が児童に向けて食育特別講話を実施～

市は、町田市里山環境活用保全計画に基づき市内の放置竹林を活用して作られた「東京謹製メンマ」を学校給食で提供します。

給食時間には、ファームマチダ東京株式会社（本社：東京都町田市、代表取締役：松井優一）の松井代表が児童に向け、放置竹林の問題解決や地域資源活用をテーマにした特別講話を行います。

1 実施概要

(1) 実施目的

市立小学校の児童が、給食を通して地域の環境問題や里山の役割を学び、自然と人との共生のあり方を考えるきっかけとすること。

(2) 実施校

町田市立鶴川第三小学校（東京都町田市鶴川六丁目5番地）

(3) 実施日

2月17日（火）

(4) 食材提供・講話実施

ファームマチダ東京株式会社 代表取締役 松井 優一

(5) 献立提案

鶴川第三小学校 栄養教諭 進藤 悠

2 詳細

別紙のとおり

■本件に関する問合せ先

学校教育部保健給食課 課長 林 TEL 042-724-2177

※取材の申込は直接別紙のお問い合わせ先（メールアドレス）までお願いします。

**東京初！東京の放置竹林問題に挑む
「東京謹製メンマ」が学校給食に登場！
～2026年2月17日に、ファームマチダ東京が食育特別講話を実施～**

ファームマチダ東京株式会社（本社：東京都町田市、代表取締役：松井優一）は、町田市内の放置竹林を活用した「東京謹製メンマ」が学校給食に採用されたことをお知らせいたします。給食提供の開始に合わせて、代表が児童の皆さんに向け、放置竹林の問題解決や地域資源活用をテーマにした特別講話を行います。



つきましては、是非ご取材いただきたく、下記にてご案内申し上げます。誠に恐れ入りますが、2月16日までに下記の内容をお問い合わせ先までご連絡ください。

①会社名 ②媒体名 ③名前 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加人数

■取組概要

このたび、東京都町田市の学校給食（町田市立鶴川第三小学校）に、東京都初の取り組みとして、町田市の放置竹林から収穫したタケノコを原料とした「東京謹製メンマ」が提供されます。初回はラーメンの具材として提供されますが、今後は給食現場の栄養士の皆さんと連携し、児童が親しみやすいレシピ開発も進めてまいります。

■講話概要

【日程】

2026年2月17日（火曜日）11：45～13：15

※給食時間（12：15～12：55）のうち、昼の放送の時間（12：35～12：45）にあわせて全校児童へ向けてオンラインにて講話を配信、その後は各教室で実際に

児童が食べている様子を見学予定。13:00～13:15 に個別質問等の取材対応予定。

【場所】

町田市立鶴川第三小学校

東京都町田市鶴川六丁目5番地

■取材可能内容

- 給食配膳・食事の様子
- 児童による「東京謹製メンマ」の試食風景
- フームマチダ東京代表による講話の様子
- インタビュー（校長、栄養教諭、児童、フームマチダ東京代表）

■背景と意義

首都圏でも増加傾向にある放置竹林は、生態系への影響や景観悪化、災害リスクなど様々な課題を引き起こしています。こうした問題は、かつて人々の暮らしと密接に結びついていた里山の管理不足によって顕在化しているとも言えます。

フームマチダ東京は、この課題に対して「竹を食べる」取り組みを通じて解決を目指し、町田市内の孟宗竹を活用した 100%東京産メンマ「東京謹製メンマ」を開発しました。本取り組みは、放置竹林の解消だけでなく、地域資源を活かした里山保全にもつながるものです。

さらに、学校給食を通じて子どもたちが地域の環境問題や里山の役割を学び、自然と人との共生のあり方を考えるきっかけを創出することで、未来の持続可能な社会づくりに貢献してまいります。





■会社概要

会社名：ファームマチダ東京株式会社

代表者：代表取締役 松井優一

所在地：東京都町田市中町一丁目4番2号 町田新産業創造センター2階

設立：2021年12月

事業内容：農業およびそれに附帯する一切の事業

本件に関するお問い合わせ先：info@fmtokyo.co.jp